



ふぞくの風

読書から得ること

副校長 益山 富誉

本校では、11月5～18日を校内読書旬間として、学校図書サービス委員会（5・6年生の委員会活動）が中心となって様々な取組を進めました。私も1年生の児童から、「おしりたんてい」の本を紹介した読書郵便をいただきました。心がほっこりしました。

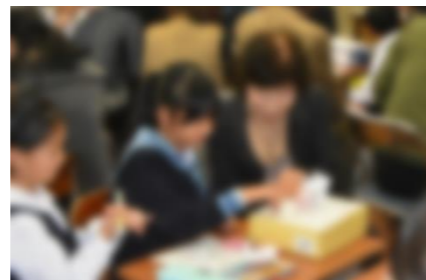
秋の夜長に、「仕事と心の流儀」（丹羽宇一郎著）という本を読みました。心に残った文言に、「小さな失敗はたくさんした方がよい、仕事で大失敗しないための一番よい方法は、絶えず小さな失敗を繰り返すことです。（中略）そのとき大事なものは、失敗したらすぐに、正直に上司に報告することです。」「上がるベクトルは、下がるベクトルを含んでいるし、下がるベクトルは上がるベクトルを含んでいるわけです。だから、絶好調のときこそ冷静になり、次に訪れるかもしれない最悪の事態を想定しておかなければいけません。それは、修羅場をくぐり抜ける上で最も大切な心構えと言えるでしょう。」など、私の心に響き、すぐにメモをして心に留め置くことにしました。

本との出会いによって、心が救われることもありますし、PTA講演会で鈴木淳一朗先生のお話を拝聴して、自分を見直す契機ともなりました。本や人との出会いを通して、エネルギーをいただくことも大事であると感じたこの秋でした。

子どもたちも、この時期に多くの「ひと・もの・こと」との出会いがありました。小さな積み重ねが、自分を形作っていきます。様々な経験を大切にしていきたいものです。

● 参観ありがとうございました ～学校参観週間・祖父母参観～

11月1日（金）～11月10日（日）まで学校参観週間が行われ、期間中には、2200名を超えるたくさんの方々から子どもたちの様子を参観していただきました。また、10日（日）に行われた祖父母参観では、おじいさんやおばあさんに自分の頑張りを見せようと張り切って活動したり、作品作りなどを通して楽しくふれ合ったりする子どもの姿が見られ、とても微笑ましく感じられました。今後も、附属小学校の取組への温かい御支援・御協力をよろしくお願いいたします。



【ふれあい活動で一緒に作った紙相撲を楽しむ様子】

● 花いっぱい为学校環境を支えてくださる方々 ～教育学部実習地からの菊の寄贈～

教育学部敷地には、教育学部職員や学生の作物栽培に関する研究や、学部の緑化推進のための「実習地」があります。附属小学校内の花壇や鉢に植えられている様々な花の苗も、この場所で作られ、提供されています。

11月20日（水）に、この実習地から、立派な菊の花を寄贈していただきました。中央玄関とロータリーに設置してある菊を大切に育てながら、花いっぱいの学校環境づくりを支えてくださる実習地の方々への感謝の気持ちを表していきます。



【附属小のみんなに喜んでほしいという思いで菊を設置して下さる実習地の方々】

新たな価値を創造する資質・能力を高めるための「ひと・もの・こと」とのかかわりに関する取組

● 集団宿泊的行事を通じた様々な気づき ～宿泊学習、自然教室、修学旅行～

10月下旬から11月上旬にかけて、宿泊学習（4年生）、自然教室（5年生）、修学旅行（6年生）といった、集団宿泊的な行事が行われました。4年生は、薩摩藩のかつての主要街道である白銀坂の遠行や、野外炊飯を行いました。また、5年生は、カヌー体験やサイクリング、オリエンテーリングやテント泊を行いました。そして6年生は、雲仙災害記念館や平和記念公園、グラバー園の見学等を行いました。それぞれの行程で、子どもたちはその場所ならではの自然や歴史、文化に触れ、見聞を深めることができました。

訪れた場所や、見たもの、体験したことは学年によって異なりますが、子どもたちが得た気づきや感じた成長には、共通することもたくさんあります。例えば、まず、人や自然、歴史といった、かかわる対象の大切さや偉大さへの気づきです。次に、集団で宿泊することができた自分の成長への気づきです。また、「友達と一緒にだったから乗り越えられた。」など、友達と行動することのよさを再認識できた子どもも見られました。そして、「普段は家族に頼っていることがとても多いことに気付いた。」というように、家族の有難さに改めて気付いた子どもも、多く見られました。

このような気づきを生み出すために、附属小学校では、各行事における目標をしっかりと設定させるといった、事前の活動を大切にしています。また、行事後に、自分の気づきや成長を振り返らせるといった事後の活動も大切にしています。今後も、体験的な活動を設定していくことはもちろん、これらの、事前と事後の活動も充実させることで、体験を通じた多くの気づきを子どもたちが得ることができるようにしていきます。



【友達と励まし合いながら白銀坂を登り切ろうとする4年生】



【日常の生活の有難さを感じながら野外炊飯に取り組む5年生】



【雲仙普賢岳噴火災害の語り部の話から自然の偉大さを学ぶ6年生】

● 対話から生まれるアイデア ～1年生生活科「秋遊び」～

1年生の生活科では、木の実や木の葉を使った遊びや、遊びに使える物を作る活動に取り組みました。その中で、例えば、どんぐりを転がすおもちゃを作った子どもは、安定して転がるように自分で何度も試行錯誤を繰り返しました。次第に友達と一緒に話し合いながら、制作を進めていきました。そこには、製作している自分、作っているおもちゃや材料、友達といった様々な「ひと」や「もの」との対話が生まれます。このような対話を繰り返しながら、子どもたちが質の高いアイデア数多くを生み出せるよう、活動の内容や教師の働きかけを今後も工夫していきます。



【友達と一緒に生み出したアイデア基に、試行錯誤を繰り返す様子】

【12月の主な行事】

2日（月）校内人権週間（～6日）	13日（金）学校保健委員会
3日（火） 集団下校引渡訓練（地震・噴火）	14日（土）ちからの会門松づくり
9日（月）後期前半図書通常貸出最終日	16日（月） 教育相談（～20日）
10日（火）図書返却期間（～12日）	24日（火）後期前半終了
12日（木） さわやかランニング記録会（高学年）	25日（水）冬季休業（～1月7日）